



※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	9,400,000株	2019年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	200,179株	2019年3月期	200,279株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	9,199,758株	2019年3月期2Q	9,199,674株

(注) 当社は「株式給付信託（BBT）」を導入しており、期末自己株式数には、信託に残存する自社の株式（2020年3月期第2四半期 14,853株、2019年3月期 14,953株、2019年3月期第2四半期 15,000株）を含めております。また、期中平均株式数は当該信託が保有する株式を考慮して計算・記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、貿易摩擦を背景に輸出が減速した他、主に製造業等で設備投資が慎重化する状況となりました。また、10月から開始する消費税率の引き上げによる個人消費への影響も懸念されます。世界経済は、米中貿易摩擦が深刻化する中、英国のEU離脱問題等もあり、不確実性の高い状況が続いております。

食品業界におきましては、人口減少傾向により、国内市場の拡大が困難となる中で、差別化によるマーケットシェアの確保、海外市場の開拓、新たな付加価値の創出や継続的な安全性確保等への対応が求められています。

このような状況下、当社グループは、顧客ニーズや用途多様性に着目した製品ラインナップによる販促を行う他、ごま原料相場の高騰に伴う原料価格に見合った販売価格の是正に注力しました。

ごま油におきましては、業務用は前期2月より値上げを実施し、家庭用は当期7月より値引き見合いの販売促進費の絞り込みを行いました。その影響等により、販売数量は家庭用及び業務用のいずれも前年同期に比べ減少しております。また、輸出用においても10月より値上げを予定しておりますが、当第2四半期連結累計期間においては、値上前需要を取り込む形で販売数量は前年同期に比べ増加しております。以上により、ごま油全体の販売数量は前年同期比99.1%、販売金額は前年同期比100.3%となりました。

食品ごまにおきましては、家庭用食品ごまが好調に推移しましたが、業務用が値上げの影響等により落ち込み、食品ごま全体の販売数量は前年同期比98.0%、販売金額は前年同期比100.6%となりました。

一方、コスト面におきましては、売上原価は、原料代が大幅に増加した他、当下期中に稼働予定の袖ヶ浦工場人員の増等に伴う人件費の増加等により前年同期比110.0%となりました。また、販売費及び一般管理費は、家庭用の販売促進費の絞り込み等により前年同期比96.9%となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高17,490百万円(前年同期比94百万円増)、経常利益は2,274百万円(前年同期比757百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,556百万円(前年同期比542百万円減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①ごま油事業

ごま油事業におきましては、家庭用は、交通広告やSNSを利用した広告施策やより強い風味が特徴である純正ごま油濃口200gの浸透施策等を行いました。7月より開始した値引き見合いの販売促進費の絞り込みの影響が大きく、販売数量及び販売金額は前年同期に比べ減少しております。

業務用は、前期2月から取り組む値上げの影響等により、一部の加工ユーザーや外食産業向けで使用量の減少や他社への切り替えが生じる等、販売数量は前年同期に比べ減少しております。また、値上げにより業務用全体の販売単価は上昇しておりますが、販売数量の減少の影響が大きく、販売金額も前年同期に比べ減少しております。

また、輸出用は、10月より予定する値上げ前の需要獲得等により、販売数量及び販売金額は前年同期に比べ増加しております。

コスト面では、既存設備の耐用年数の経過に伴う減価償却負担の減少等あったものの、原料代が大幅に増加した他、袖ヶ浦工場に従事予定の人員増等に伴う人件費の増加により、売上原価は前年同期に比べ増加しました。また、販売費及び一般管理費は家庭用の販売促進費の絞り込み等により、前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、売上高は12,936百万円(前年同期比45百万円増)、セグメント利益は1,774百万円(前年同期比550百万円減)となりました。

## ②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、食品ごまは、業務用の値上げ等に伴う販売数量の落ち込みにより、食品ごま全体の販売数量は前年同期に比べ減少しましたが、家庭用の販売が好調であったことや、業務用の値上げも寄与し、食品ごま全体の販売金額は前年同期に比べ増加しました。ねりごまは、値上げを行った業務用の販売が落ち込み、ねりごま全体の販売数量及び販売金額は前年同期に比べ減少しました。

一方、コスト面では、原料価格の上昇や更新設備の減価償却負担の増等により売上原価は前年同期に比べ増加しました。また、販売費及び一般管理費は人件費増等により、前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、売上高は4,508百万円(前年同期比30百万円増)、セグメント利益は431百万円(前年同期比137百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ438百万円減少しました。これは有形固定資産が2,015百万円、たな卸資産が1,641百万円増加するなどの増加要因があったものの、現金及び預金が3,550百万円、受取手形及び売掛金が684百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ884百万円減少しました。これは短期借入金が増加するなどの増加要因があったものの、未払金が1,995百万円、支払手形及び買掛金708百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ445百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益1,556百万円計上と配当金の支払い1,105百万円の加減算により利益剰余金が450百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,655	2,105
受取手形及び売掛金	7,715	7,031
商品及び製品	1,503	1,645
仕掛品	804	853
原材料及び貯蔵品	4,212	5,661
その他	686	817
流動資産合計	20,577	18,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,925	5,329
建設仮勘定	5,576	3,677
その他	5,057	5,566
有形固定資産合計	12,559	14,574
無形固定資産	254	338
投資その他の資産	2,846	2,771
固定資産合計	15,660	17,684
資産合計	36,237	35,798
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,139	2,430
短期借入金	—	2,000
未払法人税等	743	716
賞与引当金	352	279
役員賞与引当金	193	46
その他	3,504	1,396
流動負債合計	7,932	6,870
固定負債		
退職給付に係る負債	1,482	1,531
役員株式給付引当金	9	14
資産除去債務	54	174
その他	246	249
固定負債合計	1,793	1,970
負債合計	9,725	8,841
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,067	3,067
利益剰余金	21,902	22,353
自己株式	△1,380	△1,379
株主資本合計	25,749	26,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	747	739
繰延ヘッジ損益	14	17
その他の包括利益累計額合計	762	756
純資産合計	26,511	26,957
負債純資産合計	36,237	35,798

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	17,396	17,490
売上原価	9,279	10,210
売上総利益	8,116	7,280
販売費及び一般管理費	5,208	5,050
営業利益	2,907	2,229
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	16
為替差益	134	14
受取保険金	—	22
雑収入	9	6
営業外収益合計	159	59
営業外費用		
支払利息	—	0
支払手数料	12	5
補助金返還損	8	—
災害による損失	13	7
雑損失	0	1
営業外費用合計	35	14
経常利益	3,031	2,274
特別利益		
固定資産売却益	60	6
特別利益合計	60	6
特別損失		
固定資産除売却損	10	4
特別損失合計	10	4
税金等調整前四半期純利益	3,081	2,277
法人税、住民税及び事業税	964	663
法人税等調整額	19	57
法人税等合計	983	721
四半期純利益	2,098	1,556
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,098	1,556

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,098	1,556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	△8
繰延ヘッジ損益	48	2
その他の包括利益合計	107	△5
四半期包括利益	2,205	1,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,205	1,550
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,081	2,277
減価償却費	367	364
賞与引当金の増減額(△は減少)	△139	△73
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△176	△146
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	48	49
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	3	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△15	△16
受取保険金	—	△22
支払利息	—	0
支払手数料	12	5
為替差損益(△は益)	△12	2
有形固定資産除売却損益(△は益)	△49	△2
売上債権の増減額(△は増加)	△603	684
たな卸資産の増減額(△は増加)	△638	△1,641
その他の資産の増減額(△は増加)	△102	△174
仕入債務の増減額(△は減少)	207	△718
その他の負債の増減額(△は減少)	△145	△658
小計	1,836	△64
利息及び配当金の受取額	75	67
利息の支払額	—	△0
支払手数料の支払額	△9	△4
保険金の受取額	—	22
法人税等の支払額	△1,179	△628
営業活動によるキャッシュ・フロー	722	△608
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
投資有価証券の売却による収入	2	—
有形固定資産の取得による支出	△2,478	△3,788
無形固定資産の取得による支出	△126	△60
有形固定資産の除却による支出	△6	△13
有形固定資産の売却による収入	123	7
貸付金の回収による収入	1	1
保険積立金の積立による支出	△15	△14
保険積立金の解約による収入	—	34
その他	△8	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,511	△3,837
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	2,000
リース債務の返済による支出	△1	△1
配当金の支払額	△1,378	△1,103
自己株式の取得による支出	△88	—
自己株式の処分による収入	88	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,379	895
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,168	△3,550
現金及び現金同等物の期首残高	11,007	5,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,838	2,090

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,890	4,478	17,369	26	17,396
計	12,890	4,478	17,369	26	17,396
セグメント利益	2,324	569	2,894	13	2,907

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,894
「その他」の区分の利益	13
四半期連結損益計算書の営業利益	2,907

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,936	4,508	17,445	44	17,490
計	12,936	4,508	17,445	44	17,490
セグメント利益	1,774	431	2,205	23	2,229

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,205
「その他」の区分の利益	23
四半期連結損益計算書の営業利益	2,229

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。